

# 令和8年度 市政運営の基本的な考え方

## 1. 令和8年度の市政展開に向けて

令和8年度は、新たな志摩市総合計画の初年度となる重要なスタートとなる年です。社会経済情勢がめまぐるしく変化する中、市民の皆さんの「しあわせ」(ウェルビーイング)を実現するため、本市を取り巻く人口減少・少子高齢化をはじめとする複合的な課題に対して、すべての政策において成果を意識し、さまざまな取組を迅速かつ着実に実行していきます。

令和7年11月の第44回全国豊かな海づくり大会開催に続き、令和8年度は、伊勢志摩国立公園指定80周年のほか、G7 伊勢志摩サミット開催 10 周年、さらには三重県誕生150周年という節目の年となります。これらを未来への飛躍の契機ととらえ、豊かな自然や文化といった地域資源の価値を最大限に高め、次の世代へ「自慢できる新しい志摩市」を引き継ぐための基盤構築に取り組み、市民の皆さんに希望ある未来への進展を感じてもらえる一年をめざします。

## 2. 政策推進の基本的な考え方

新たな総合計画に掲げる目標の実現に向け、効果的かつ効率的な市政運営を推進するため、「あるものがし」の成果をもとに、徹底した「新陳代謝」を図り、時代に即した事業の再構築に取り組みます。事業の効果を検証し、事業継続の必要性を十分検討します。そのうえで、効果を上げている事業も含め既存事業の大胆な見直しを行い、新規事業及びリニューアル事業の立案を積極的に図ります。

令和8年度は、次の5つの重点分野を設定し、課題解決に向け、スピード感を持って政策を推進します。

### **重点分野1** 防災・減災・地域強靱化の推進

南海トラフ地震等の大規模災害に備え、市民の生命と財産を守り抜く体制をより一層強化していく必要があります。能登半島地震やカムチャツカ半島地震、頻発する自然災害も踏まえ、新たな被害想定に対応する避難環境・体制の強化に取り組みます。また、官民の知恵を結集した地域防災力の抜本的強化を図るとともに、デジタル技術を活用した消防・防災DXを推進することで、災害に強い地域を構築します。

- 1) 新たな被害想定に対応する避難環境・体制の強化
- 2) 官民の知恵を結集した地域防災力の抜本的強化
- 3) 災害に強い地域に向けた消防・防災DXの推進

### **重点分野2** 未来を創るこども・若者政策の推進

少子化の進行が危機的な状況にある今、長期的な視点をもって、若い世代に対応した政策の強化が求められています。まちの未来を見据え、こども・子育て環境を充実するとともに、若者が希望を持って暮らせる環境の整備に取り組みます。また、地域課題を解決するスタートアップの創出を支援し、若者を惹きつける活気あるまちを創ります。

- 1) こども・子育て環境の充実
- 2) 若者の転入希望を増やす環境整備
- 3) 地域の課題を解決するスタートアップの創出

### **重点分野3 安心して働き、暮らせる生活環境の創生**

高齢化や担い手不足が進む中、将来を見据えた持続可能なサービス提供に向けて、人口減少を前提とした適応策に取り組んでいく必要があります。地域公共交通のり・デザインに取り組み、市民の移動手段を確保するとともに、地域における医療・介護サービスの維持・確保に努めます。また、「民」の力を活かした官民共創により、生活の利便性向上や地域活力の向上を図ります。

- 1) 地域公共交通のり・デザインの全面展開
- 2) 医療・介護サービスの維持・確保
- 3) 「民」の力を活かした地域サービスの向上

### **重点分野4 持続可能な観光地域づくりの推進**

次世代につながる志摩市を築くためには、地域産業への波及効果が高い観光産業を地域経済の柱に据え、持続可能な発展をめざすことが重要です。このため、地域における観光マネジメント体制を強化し、多様な取組を促進します。特に、2030年に訪日外国人旅行者数6,000万人、訪日外国人旅行消費額15兆円を目指す国の目標を踏まえ、インバウンドを含む観光客誘致の拡大を図ります。また、地域産業の担い手を確保するとともに、地域の魅力的な資源を生かした新しい事業の創出を進めます。

- 1) 観光マネジメント体制の強化による多様な取組の促進
- 2) インバウンドを含む観光誘客の拡大
- 3) 地域産業における担い手の確保・育成と新事業創出

### **重点分野5 「自慢できる新しい志摩市」の実現**

「自慢できる新しい志摩市」の実現は、志摩市に対する市民の愛着と誇りを育み、持続可能なまちをつくるための重要なテーマです。伊勢志摩国立公園の指定から80周年を迎えるこの機をとらえ、豊かな自然と文化の魅力を最大限に高めます。また、プロモーションと広報広聴機能の連携を強化し、志摩市の魅力を戦略的に発信します。市民サービスの向上に向けて、デジタル技術等を活用した庁内DXによる業務の効率化をさらに推し進めます。

- 1) 伊勢志摩国立公園指定80周年を契機とした魅力向上
- 2) 戦略的な情報発信・プロモーションの強化
- 3) 市民サービスを向上させる庁内DXのさらなる推進

DX：デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術を活用して、市民サービスの向上や行政の業務効率化を図る取組。単にシステムを導入するだけでなく、組織や業務プロセス全体を変革し、より良い行政サービスを提供することを目指すもの

スタートアップ：革新的なビジネスモデルを有し、短期間での急成長を目指す企業のこと

### 3. 政策推進を支える行政運営

政策推進の土台となる行政運営の面においては、市民の皆さんをはじめとした多様な主体との連携・共創を基本姿勢に置き、限られた行政資源により最大の効果を生み出すために、さまざまな取組を積極的に進めます。行政運営の礎となる職員の確保・育成を進めるとともに、その能力を最大限に活かせる環境づくりに取り組みます。また、財政基盤の面では、中長期的な視野で、財政の健全化と資産（公共施設等）の効果的な活用を進めます。あわせて、市民に必要な情報が伝わる情報発信の強化と、庁内 DX による業務効率化を進め、市民サービスの向上を図ります。